

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の意識の統一が未だ不十分であり、個々の職員や状況の違いによって、同じ利用者に対しても接遇の内容にばらつきがある。	職員の意識を統一し、スキルと知識を均一にすることで、ムラのない接遇を提供出来る体制を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーカー会議にて十分に意見を交換し、職員の意識の統一を図る。 ・専門の資格や知識を持つ職員に講師をお願いし、スキルアップ講座を実施する。 ・利用者毎に個別の対応マニュアルを作成。 	12ヶ月
2		申し送りやケース記録、連絡ノートや回覧物の活用が十分でなく、職員の交代時や休み明け出勤時に、利用者の体調等の変化や処遇の変更などが正しく伝わっていないことがある。	報告・連絡・相談を徹底し、職員間での情報の共有を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り口頭での直接の報告・連絡・相談を行う様にし、それが出来ない場合はノート等を活用する。 ・曖昧な点や疑問を感じたらすぐに確認・相談。 ・重要な連絡は多少くどい位に複数回伝える。 	6ヶ月
3		利用者の心身機能の低下により、作業・レクリエーションを行うことが困難になりつつあり、ごく限られた種類の物しか実行出来ていない。	心身のレベルに関わらず、全ての利用者が達成感や充実感を得られる作業・レクリエーションが提供出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりのバックボーンを掘り下げ、それぞれの経験や特技が活かせる作業や、興味を引く事が出来るレクリエーションを考案する。 	12ヶ月
4		利用者の心身機能の低下により、地域との関わりがほとんど持てていない。	地域の方々との関わりを通じて気分転換をしていただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が外出困難ならば、先方に訪問して頂ける様な企画を立てる(足守幼稚園等)。 ・移動販売を積極的に利用する。 ・運営推進会議の定期的な実行。 	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。